

和泉市議会だより



発行：和泉市議会 編集：広報広聴委員会（和泉市府中町二丁目7番5号）電話：0725-99-8154（議会直通）
和泉市議会ホームページアドレス：<http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html>

平成24年第1回定例会は2月27日開会の予定です



和泉市久保惣記念美術館の茶室「聴泉亭（ちょうせんてい）」（国登録有形文化財）

平成23年第4回定例会終わる

平成23年第4回定例会が11月30日から12月15日までの16日間の会期で開催されました。

今定例会では、「工事請負契約締結について（（仮称）和泉市消防署旭分署新築工事）」など、議案23件、報告3件が上程、また、「人権擁護委員候補者を推薦することにつき意見を求めることについて」の諮問1件、「平成22年度一般会計並びに各特別会計」における決算認定11件、議員提出議案として意見書3件など、それぞれ慎重な審議が行われました。

12月12日、13日には12人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われ、それぞれ活発な議論が交わされました。

目次

- 平成22年度決算審査概要
・・・・・・・・・・2ページ
- 常任委員会審査報告
・・・・・・・・・・3ページ
- 一般質問・・・・・・・・4ページ
- 意見書等・・・・・・・・7ページ
- 次回定例会の予定
・・・・・・・・・・8ページ

平成22年度 一般会計、各特別会計、水道・病院会計決算を認定

* 決算審査特別委員会での質問項目 * (ここでは質問の一部を掲載)

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◇町会館等整備費助成金の内容について ◇地域活性に向け自治会行事への補助を行うべきでは ◇和泉市人権協会助成金、大阪府人権協会負担金について ◇外部評価の結果を事業見直しにどう結びつけるのか ◇公共交通対策事業におけるコミュニティバスの運行について ◇南部リージョンセンター指定管理料について ◇防犯協議会活動委託料について ◇防災等の市民の集いにおける文字通訳者と手話通訳者の配置について ◇滞納債権整理回収課の取り扱い債権等について ◇街区表示板取付委託料について ◇高齢者生きがい対策事業における年輪大学の内容等について ◇病後児保育事業委託料について ◇保育所移管選考委員会委員報償費について ◇離婚係争中の場合の子ども手当の支給について ◇がん検診事業について ◇乳がん等のがん検診の受診率を向上させる更なる取り組みを | <ul style="list-style-type: none"> ◇市立休日急病診療所廃止後の急病患者受入体制について ◇いずみ霊園管理運営事業について ◇アライグマ捕獲協力報償費について ◇ごみ処理手数料について ◇緊急雇用創出基金事業について ◇和泉まちなか商い塾のあり方について ◇街路灯点検調査委託料について ◇いずみいのちの森事業について ◇救急救命士登録免許税について ◇小中学校の学力向上に向けた取り組みについて ◇外部人材活用事業について ◇スクールカウンセラーについて ◇不登校児童・生徒の支援事業について ◇在日外国人児童生徒サポート事業について ◇小・中学校、幼稚園施設維持管理事業における修繕料について ◇南池田・北池田小学校公共下水道接続工事費について ◇いずみ太鼓振興事業負担金における練習場の問題等について ◇国民健康保険料改定の必要性について ◇和泉市立病院について |
|---|--|

本会議初日に決算審査特別委員長が審査結果を報告、それに対して賛成・反対討論がありました。ここではその内容を一部要約して掲載しています。

一般会計決算の討論

【賛成討論】昨今の景気低迷を反映した厳しい財政状況のもと、国の経済対策の活用も図りながら多様な施策、事業が展開されたものと推察する。特に少子高齢化対策では、乳幼児医療費助成制度における所得制限の撤廃や地域子育てセンター「ぶらんこ」の整備、街かどデイハウスの拡充支援などが行われた。安全・安心対策では、小・中学校の耐震補強整備を進めるとともに、消防署旭分署庁舎の建て替えに向けた実施設計など消防施設の強化、通学時の交通事故防止対策として通学路の路側帯のカラー舗装の整備を推進した。都市基盤整備では、長年の課題であったフチュール和泉がオープンしたことで都心の活性化が図られ、環境・産業では、住宅用太陽光発電設備設置補助事業を制度化し、環境への負担軽減を図るための施策が展開された。教育・生涯学習の面では、教育施設の拡充や留守家庭児童会「仲よしクラブ」における大規模クラブの解消など児童の健全

育成にも力を注いでいる。また、市税や国民健康保険料の徴収では、コンビニ収納の環境を整備することで利便性の向上を図るとともに、市民が主役のまちづくりを進めるため、自治基本条例を制定し、公民協働のまちづくりに向けた環境整備にも努めている。

【反対討論】人権行政では、人権文化センターや青少年センターを指定管理することにより一定の改善が行われている一方で、大阪府人権協会への負担金や和泉市人権協会への支出は改善が見られない。また、障がい者給付金は精神障がい者も対象となったが、敬老祝金との整合性で全体としては給付費の引き下げが行われている。小栗の湯共同浴場では、当初はしないと表明していた赤字補てんを含む指定管理料が支出されている。また、南松尾地域に続いて横山地域の横山第一、第二保育園を民営化するための移管選考委員会予算が執行されているなど、納得できない支出が含まれている。

【反対討論】上伯太線道路整備に関連してグラウンドを整

備した際、アドバイスをしたということで一市民に契約書もない中で60万円を支払ったという行政としてあり得ない支出が行われた。また、泉北環境整備施設組合負担金に関しては、従来から人口割・均等割で長年運営していたが、突如ごみ搬入量割の10対0で負担を負うという提案をされた後、22年度から分担金の均等割の割合を下げることに伴い搬入量割が上がり、結果的に市の負担が増加する週及適用が行われた。

その他会計決算の討論

◇国民健康保険事業

予算段階でも保険料を改定せずに据え置くことはできなかったのかという点を議論したが、最終的には3億円の赤字を解消するための値上げが行われた。会計の厳しさは分かるが、今回の決算を見ても値上げはもっと抑えることができたと考える。

◇公共下水道事業

本市の下水道普及率は府内平均を大きく下回っており、水洗化及び生活排水対策を早

期に実現するため、市街化調整区域においても下水道整備を進めていく必要があると考える。しかし、やみくもに公共下水道を敷設するだけでなく、より少ない予算で対応できる合併浄化槽の設置も考慮しながら、身の丈に合った手法で進めるべきである。

◇和泉診療所事業

これまでも和泉健康会への委託も含めて批判してきた。診療所としての今後のあり方は大変厳しく、管理運営形態の方向性も未だに曖昧である。

◇後期高齢者医療事業

大阪府後期高齢者広域連合が保険料を改定し、1人当たり4千円の値上げがあった。これで終わるのではなく、今後値上げが続くということと制度設計そのものに問題があると考えられる。

◇和泉市病院事業会計

議会からも経営形態の見直しを含む指摘が多数あったが、公設公営にこだわった結果、経営は改善されず危機的状況にある。公立病院改革プランへの取り組みが遅すぎるため結果を出せない状況である。

常任委員会審査報告

総務安全委員会

和泉市土地開発公社の解散について（関連議案2件含む）

【委員】昭和46年に購入した土地を売却せずに放置し、最終的に国が一部肩代わりしてくるため解散となった。長く保有した間に、利子が膨大なものになり、事業化などすべきことをしてこなかったという意味では責任があると思う。事業計画を立てないまま土地を保有してきた責任についてどう考えているのか。

【理事者】過去、土地を先行取得することによって市にとって一定のプラス面、存在意義があったが、近年の地価下落に加えて市が事業化できなかったために簿価も上昇し、金利がかさみ、今回、行財政改革の一環として過去を清算するとはいえ、多額の権利放棄をしないで済むならなかったことについては一定の責任を感じている。今後の土地取得にあたってはきちんと予算をあげ、議会で審議していただくことが財政の健全化に繋がるものと考えている。

【委員】府の事業関連の土地は府に申し入れるよう要望する。

都市環境委員会

泉北環境整備施設組合規約の変更について

【委員】分担金負担割合の変更協議における本市の基本的な考え方及び合意に至った経過を聞きたい。また改正に基づく影響額はどうか。

【理事者】分担金負担割合の変更については週及を行わず、均等割の部分は残し年度内の決着に向け協議を行った。またクリーンセンターの予備ピット化では意見はまとまったものの下水施設のあり方で結論に至らず、今後著しく人口が変化した場合に協議を行い、下水施設については来年度中に協議することで合意に至り今回上程した。影響額では約1億2千万の増額となる。

【委員】再資源化センターの事業規模及びその内容は。

【理事者】事業規模は25億6千万円程度だが今後の議論によって縮小すると考える。またガスコージェネレーションの導入などによる光熱水費の節減や発電量を増やすことなど、経費削減効果を図るといった計画が示され、今後3市で内容を精査していく。

厚生文教委員会

財産取得について（中学校武道用備品・消耗品）

【委員】4月から中学校保健体育において武道が必修科目になるとのことだが、年間の授業時間は。

【理事者】年間約10時間を予定している。

【委員】年間10時間で上達することを期待するわけではないと思う。礼儀作法や基本的な体力という側面から指導していただきたい。

また、中には武道を指導することに心配や不安を持っている先生もおられると思う。これらを払拭するための研修制度はあるか。

【理事者】中学校の武道必修化に向けた地域連携指導実践事業を石尾中学校の剣道の授業で受けた。その実践者の体育教師を講師として教育委員会主催の剣道指導者研修会を全体育教師対象に行う。また、柔道についても指導経験豊富な市内の教師を講師として指導法や安全確保についての研修会を行う。

【委員】くれぐれも事故の無いようをお願いしたい。

市政に対して 12人の議員が

一般質問

第4回定例会で行われた一般質問の内容をここでは紙面の都合上、一部を要約して掲載しています。

信太山丘陵の保全について

小林 昌子 議員

【議員】 23年9月議会で信太山丘陵の保全を求める請願が採択された後、従来のスポーツ施設建設から自然保全に向けての考えに変化は。

【理事者】 請願採択を真摯に受け止め、今後判断する上で重要な要素になると考えている。

【議員】 市長は市長選挙の折に公開質問状の「対象地に大規模な人工施設の建設についての見解」の答えとして「里山として人間の適切な管理のもとと保全していく事が大事だと考える。そのように考えると大規模な人工施設はそぐわないと判断する。また自然の中で生存している動植物は人の手が加わるのと反比例してその生態系が壊れて、いずれは消滅してしまう。自然植生を残した森や湿地帯を存続させることが、長期的な視野で自然環境を守る事において非常に重要な事である」と熱い思いを語っているが現在の考えは。

【理事者】 公開質問状の回答については今も同じ気持ちだ。さらに請願採択を重く受け止め、今後とも信太山の自然をいかに保全していくかという観点を重視した計画を策定していきたい。

■その他の質問項目
・生活排水対策について
・新住宅市街地における街づくりについて パートⅢ



フィフティ・フィフティ 制度について

金児 和子 議員

【議員】 フィフティ・フィフティ制度とはドイツのハンブルクで始まった環境プロジェクトである。小中学校で光熱水費のムダを無くし節約すると、減った経費の半額を市からその学校に還元するシステムで、節約、地球温暖化防止、子ども達への生きた環境教育という一石三鳥の効果がある。現在、和泉市内小中学校の光熱水費の支出状況はどうか。

【理事者】 平成22年度では、小学校21校で合計約1億5千万円、中学校10校で約8千3百万円である。

【議員】 和泉市は自然豊かだが近隣の市のような自然科学館が無く、子どもたちへの自然教育や環境教育が出来にくい。十年以上続けて効果を上げていく札幌市をはじめ、多くの市が実施しているこの制度を取り入れてはどうか。

【理事者】 今年には特に電力需要の抑制が求められており、市教委では各学校に具体的な取組みの要請をしている。先行市ではこの制度に取り組み学校が増えていると聞く。環

境に対する意識を高める意味でも有意義な制度だと考えられるので、調査研究してまいりたい。

■その他の質問項目
・市内小中学校の支援学級について
・消費生活センターと他部署の連携について

アレルギーを持つ児童 の給食について

早乙女 実 議員

【議員】 小中学校のアレルギー児童（生徒）数、入学時の相談や給食への対応は。

【理事者】 小学校給食対応189人、アナフィラキシー注意12人、エビペン対応1人。中学校給食対応90人、アナフィラキシー注意4人、エビペン対応1人。入学説明会等で相談対応し、除去部分を確認。さらに「献立表・使用食材の内容成分資料」の確認を実施。通常調理の除去可能範囲は限られ、代替食は別の調理工程が必要で対応できていない。

【議員】 保育園ではどうか。

【理事者】 アレルギー児童数（平成23年9月）公立園103名、民間園114名。栄養価の不

足が出ないよう考慮し、例えば卵アレルギーの場合、湯葉での代替食等で対応。

【議員】 学校給食でのアレルギー対応食の今後の方向性は。

【理事者】 個別対応が基本となる。代替食は特別な設備の改修と調理員の確保等が必要。現状では食材除去での提供が基本と考える。

【議員】 アレルギー対応は栄養士・調理員・教師・保護者の連携が必要。府下でも評価される和泉市の「自校・直営」の利点を活かした更なる充実を。

■その他の質問項目
・学校図書館司書ボランティアについて



自治会等における「防犯カメラ」について

杉本 淳 議員

【議員】「防犯カメラ」は犯罪の摘発のみならず抑止効果も大いに期待が出来ると思うが、本市において市内の公共施設に何ヶ所ほど設置されているのか。

【理事者】大阪府では国道480号線の父鬼町に2台、堺かつらぎ線に2台でいずれも不法投棄の抑止によるものである。

和泉市では、和泉府中駅や

図書館での「あかちゃんタイム」について

原口 裕見 議員

【議員】23年3月、和泉府中駅前に「和泉図書館」が開設された。現在、和泉市は4館の図書館があり、市民の憩いの場となっている。この図書館利用についての周知や特に未就学児を対象とした取り組みはどうしているのか。

【理事者】広報、ホームページ、図書館だより等で周知し、未就学児については4か月児健診時に絵本をプレゼントする

和泉中央駅の自転車駐輪場に合計52台設置している。

また、自治会等が設置したカメラが2ヶ所あり、本市は市内13ヶ所に22台を設置する予定である。

【議員】自治会等が自ら防犯カメラを設置する場合に市において助成制度はないのか。

【理事者】本市においては、カメラそのものや設置費用などの助成は現在行っていないが、設置後の防犯カメラの電気料金にかかる補助制度を創設し、助成を行っている。手続きに関しては、補助申請時に電気料金の領収書を添付し

など読書推進について様々な取り組みを行っている。

【議員】東京都杉並区で23年8月から、幼児連れの親子でも気兼ねなく図書館が利用できる「あかちゃんタイム」が創設された。幼い子どもを持つ母親からの要望によるものである。「周囲の迷惑を考えるとゆつくりと本を選べない」「騒ぐと思うと図書館利用を遠慮してしまう」等の理由からだ。杉並区では開設以来「楽しみにしていた」「安心して利用できる」等喜びの声が届いている。小さい時から読書環境は非常に大事で

ていただいている。

■その他の質問項目

・行政財産の使用許可について
(市立病院、水道資材置場)
・未利用地の行政財産及び普通財産の有効活用について

カーブミラーの曇りについて

辻本 孔久 議員

【議員】本市域には、多くのカーブミラーが設置されているが、これから寒い時期を迎え、地域によっては早朝に曇っている

あると考えるが、本市でも取り組めないか。

【理事者】「あかちゃんタイム」もしくは、それに変わる方策を検討したい。

■その他の質問項目
・発達障がい児支援について
・胆道閉鎖症の早期発見について

防犯灯のLED化と災害情報について

藤田 充 議員

【議員】市内には防犯灯が1万2,190灯ある。原発事

で全く見えない箇所がたくさんある。この見えなくなる時間帯と、児童の通学時間がピークになる時とがほぼ同じになり大変危険である。何か対策を考えていただきたい。

【理事者】本市には約2,000基のカーブミラーを設置している。その点検業務は委託しており、支柱の腐食、鏡面の角度や破損等を主たる点検項目とし、実施しているところであるが早朝の点検は行っていないので、ミラーの曇りの実態把握はできていない。

【議員】実態を把握するため、早朝の点検を実施する事はできないのか。

故によつて節電が呼びかけられている。20ワットの蛍光灯を7ワットのLED電球に切り替えれば、消費電力を約3分の1にすることができ、電気料金は41%削減できる。

LED化は今年度からスタートしているが、現在の電力事情、維持管理費に困窮する町会自治会の負担軽減を図るためにも短期間でLED化を断行すべきである。

【理事者】LED照明が節電に対して有効であることは認識しており、当市では本年度から防犯灯のLED化推進のため補助額を増額したが、す

きるのか。

【理事者】地域性を考慮し、早朝の点検を検討する。

【議員】点検の結果、曇りがひどく見えない箇所があれば、どのように対処するのか。

【理事者】特に危険な箇所から曇り止めの特殊加工をしている製品を試行的に設置していきたい。

■その他の質問項目

・職員間の情報共有について

すべての防犯灯をLED化するには相当の年数を要する。

大阪府がリースによるLED化を推進していること等を参考に調査研究を進めたい。

【議員】犯罪情報のメール送信を行うICPCのネットワークを活かし、災害情報のメール送信の体制づくりを進めるべきである。

【理事者】メールによる情報発信は、災害時等に相当な効果があると思われる。

本格的な災害情報発信のシステムづくりについて現状のシステムとの連携を含めて検討したい。



学校施設の安全性・防災機能について

服部 敏男 議員

【議員】学校の避難所としての防災機能における災害時の緊急連絡のための衛星電話の設置についてはどうか。

【理事者】現在1台も保有していないが、その有効性から保有を検討していきたい。

【議員】災害時に携帯電話が利用できるように発電機があればと考えるが。

【理事者】本年度各学校避難所に備蓄倉庫を設置していく中で、各校に2台設置する。

また手回しで充電できる機器も設置する。

【議員】避難所運営のためのHUGというゲームを知っているか。

【理事者】私自身も体験したことがある。重要と考え、利用促進していきたい。

【議員】避難所開設基準は。

【理事者】23年度末を目途に風水害についての「避難勧告判断マニュアル」の作成を進める。

【議員】水の確保については。

【理事者】緊急貯水槽を5校に設置し、今後もう1基設置予定で、備蓄倉庫に簡易貯水槽を1基備える予定である。

介護予防と子育て支援について

吉川 茂樹 議員

【議員】介護予防について伺います。手すり一つ付けるにしても介護認定を受けなければならぬ。このことは介護保険料や給付費の増加にも繋がる。介護予防施策を講じることにより保険料や医療費の抑制、ひいては健康保険料も抑えることにもなる。要支援1または2にならないための介護予防として、住宅改修費助成を改めて制度化できないか。

【理事者】介護予防事業は進展する高齢社会において、非常に重要な事業であると認識している。ご指摘の住宅改修を含む介護予防事業についても重要で、将来的には医療費及び国民健康保険料の抑制にも繋がることから、ふるさと元気基金の活用等も含め、慎重に検討してまいりたい。

【議員】子育て支援について伺います。現在、乳幼児医療費の助成については、通院では就学前までが無料となっている。和泉市で安心して子育てができるよう、対象年齢を引き上げるべきと思うがいかがか。

【理事者】介護予防事業は進展する高齢社会において、非常に重要な事業であると認識している。ご指摘の住宅改修を含む介護予防事業についても重要で、将来的には医療費及び国民健康保険料の抑制にも繋がることから、ふるさと元気基金の活用等も含め、慎重に検討してまいりたい。

【議員】子育て支援について伺います。現在、乳幼児医療費の助成については、通院では就学前までが無料となっている。和泉市で安心して子育てができるよう、対象年齢を引き上げるべきと思うがいかがか。

【理事者】介護予防事業は進展する高齢社会において、非常に重要な事業であると認識している。ご指摘の住宅改修を含む介護予防事業についても重要で、将来的には医療費及び国民健康保険料の抑制にも繋がることから、ふるさと元気基金の活用等も含め、慎重に検討してまいりたい。

【議員】子育て支援について伺います。現在、乳幼児医療費の助成については、通院では就学前までが無料となっている。和泉市で安心して子育てができるよう、対象年齢を引き上げるべきと思うがいかがか。

【理事者】介護予防事業は進展する高齢社会において、非常に重要な事業であると認識している。ご指摘の住宅改修を含む介護予防事業についても重要で、将来的には医療費及び国民健康保険料の抑制にも繋がることから、ふるさと元気基金の活用等も含め、慎重に検討してまいりたい。

里道の管理について

岡 博子 議員

【議員】震災を経験し、学校の耐震化が非常に重要であると言われているが、本市においても予定をさらに前倒しできないか。

【理事者】25年度に完了できるように所用の手続きを進めていく。

【議員】本市のさらなる防災機能の強化を強く要望する。

【議員】市内に700kmあると言われる里道は①どこが管

【理事者】必要な施策として認識している。慎重に検討していきたい。

■その他の質問項目
本市における動物愛護及び管理について

介護サポーターポイント制度について

石原 日出子 議員

【議員】介護サポーターポイント制度は、介護支援ボランティア活動を促すとともに介護地域貢献を促すとともに介護予防を推進、保険料の負担を抑制することを目的としてい

理し②不法占用への対応は。
【理事者】①平成16年4月に国から市へ財産譲与②不適当な使用は原状回復を指導・勧告する。

【議員】位置は調査済みか。明示費用は誰が負担するのか。

【理事者】ほとんどの里道は位置確認できていない。明示も相手方に申請してもらい、必要とする方に払ってもらう。

【議員】市が主体的に所有権の主張をしないのか。

【理事者】「機能している里道」はあえて境界確定の必要がないので隣接地を土地利用する時点で確定すれば良い。

【議員】里道使用に際し、トラブル発生の場合の対応は。

【理事者】具体的には65歳以上の高齢者が研修を受けた後に高齢者施設や障がい者施設でボランティア活動を行うと換金可能なポイントが付与される。本市でも導入を検討してほしい。

【理事者】高齢者ボランティアポイント制度は、地域の福祉活動への参加、生きがい、健康づくりや介護予防への効果が期待でき、閉じこもりや孤立を防ぐことが出来ると考えられる。

導入自治体の実施状況などを聞くと、定例的なボランティア登録・養成講座の開催、登録者のポイント管理、受け入

【理事者】境界確定を必要とする場合は、司法の場等で判断を求めることになる。

【議員】占用された場合、和解しても時効取得となるが司法の場に訴えたことはあるか。

【理事者】市が訴えたことはないが、平成20年に訴えを起こされ和解したことはある。

【議員】時効取得の売却価格は10分の1になる。10年で時効になる前に現状調査だけでも計画的に実施してほしい。

【理事者】里道利用者の情報を基に管理を行ってまいりたい。

■その他の質問項目
・保育園の民営化について
・介護保険の利用について

れ先とボランティアの調整など相当量のマンパワーやそのための費用などが必要となる。今後は現在あるボランティア登録制度なども含め関係機関と協議検討していきたい。

【議員】東日本大震災をきっかけに改めて人と人との繋がりの大切さを感じている今だからこそ、社会参加のインセンティブが働くと思う。ぜひ前向きに検討してほしい。

■その他の質問項目
・AED設置助成について

【議員】東日本大震災をきっかけに改めて人と人との繋がりの大切さを感じている今だからこそ、社会参加のインセンティブが働くと思う。ぜひ前向きに検討してほしい。

■その他の質問項目
・AED設置助成について

【議員】東日本大震災をきっかけに改めて人と人との繋がりの大切さを感じている今だからこそ、社会参加のインセンティブが働くと思う。ぜひ前向きに検討してほしい。

■その他の質問項目
・AED設置助成について

【議員】東日本大震災をきっかけに改めて人と人との繋がりの大切さを感じている今だからこそ、社会参加のインセンティブが働くと思う。ぜひ前向きに検討してほしい。



職員基本条例の考え方について

知覧 正勝 議員

【議員】地域政党「大阪維新の会」が提案する職員基本条例の前文では、能力と業績に応じた人事を徹底し、年功序列や身分制的な人事運用を排除し、成績を上げる職員には責任ある仕事の機会を与えることや職員の懲戒処分・分限処分の基準が盛り込まれているが、この職員基本条例についての考え方は、

【理事者】府の職員基本条例案は人事評価のあり方、懲戒・分限処分の規定等人事制度を根本的に見直すことにより行政のあり方そのものの改革を図るもので、今後の動向等を注視したい。

【議員】今回の大阪府知事選・大阪市長選において府民・市民の多くは「改革」という選択をしたと認識する所であるが、本市において実施されている人事評価制度を分限処分や給与等の処遇に活用するか。

【理事者】まずは人事異動の参考とし、研修等にも活用したい。

【議員】職員基本条例は「民

3件の意見書を可決

関係省庁等に送付しました。

- ◆ ワクチン接種緊急促進事業の継続に関する意見書
- ◆ 国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書
- ◆ 防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書



間では当たり前」という意見を多数聞く。本市においても積極的な姿勢で取り組んで頂くよう要望する。

■ その他の質問項目
・新学習指導要領の進捗状況について

人事案件に同意

今定例会では3件の人事案件があり、それぞれ市長から次の方々が選任、推薦及び任命され、議会として同意しました。

◇ 公平委員会委員

寺田 友子氏（兵庫県西宮市）

任期：平成24年2月26日～平成28年2月25日

◇ 教育委員会委員

槇野 勝美氏（いぶき野）

任期：平成24年2月26日～平成28年2月25日

◇ 人権擁護委員

米田 豊氏（王子町）

門林 利栄子氏（池田下町）

古下 義隆氏（芦部町）

任期：平成24年7月1日～平成27年6月30日

定例会審議結果一覧表

件名	委員会	本会議
平成22年度和泉市一般会計決算認定について	認定 (賛成多数)	認定 (賛成多数)
平成22年度和泉市国民健康保険事業特別会計決算認定について	認定 (賛成多数)	認定 (賛成多数)
平成22年度和泉市老人保健事業特別会計決算認定について	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
平成22年度和泉市公共用地先行取得事業特別会計決算認定について	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
平成22年度和泉市公共下水道事業特別会計決算認定について	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
平成22年度和泉市街地再開発事業特別会計決算認定について	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
平成22年度和泉市介護保険事業特別会計決算認定について	認定 (賛成多数)	認定 (賛成多数)
平成22年度和泉市和泉診療所事業特別会計決算認定について	認定 (賛成多数)	認定 (賛成多数)
平成22年度和泉市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
平成22年度和泉市水道事業会計決算認定について	認定 (全会一致)	認定 (全会一致)
財産取得について（中学校武道用備品・消耗品）	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
和泉市土地開発公社の解散について	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
第三セクター等改革推進債の起債に係る許可申請について	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
災害復旧事業の施行について（小川東団地災害復旧工事）	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
公の施設の指定管理者の指定について（和泉市立青少年の家・和泉市立横尾山森林浴コース）	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
平成23年度和泉市一般会計補正予算（第4号）	可決 (全会一致)	可決 (全会一致)
泉北環境整備施設組合規約の変更について	可決 (賛成多数)	可決 (賛成多数)

その他、議案14件、報告3件、監査報告9件、意見書3件、人事案件3件がそれぞれ可決等されました。

トピックス

◆議員研修会

平成 23 年 11 月 18 日に大阪府市議会議長会主催の議員研修会が吹田市で開催され、本市議会からも多数の議員が参加しました。

演 題：「地方議会は変わるか」

講 師：中央大学大学院教授・法学博士
佐々木 信夫氏

会議録速報版を公開しています!!

市民の皆さまへのサービス向上をめざし、本会議・委員会会議録の校正前原稿を「会議録速報版」として、会議開催日の約 1 か月後にホームページで公開しています。

※校正前原稿のため、正式な会議録ではありません。
※正式な会議録を公開した時点で速報版は削除します。

ホームページのお知らせ

和泉市議会

検索



〈ホームページアドレス〉

<http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html>

市議会ホームページでは、本会議や予算・決算審査特別委員会の様子をインターネット配信しています。24時間いつでも視聴できる「録画配信」の他に会議の状況をそのままお伝えする「ライブ配信」も行っていますので、ぜひご覧ください。

ご意見を募集しています

読みやすく親しみやすい市議会だよりの紙面づくりのために、皆さまのご意見をお聞かせください。

〒594-8501

和泉市府中町二丁目 7 番 5 号

和泉市役所 議会事務局

電話：0725-99-8154（直通）

FAX：0725-43-4525



傍聴のご案内

	本会議	委員会
定員	40 名 (車いすスペース 3 台分)	7 名 (音声傍聴 10 名)
受付時間	開会予定時刻の 15 分前から	
場所	議場 (入口は 1 号館 3 階税務室資産税横) ※車いすの方は、1 号館 4 階の 市議会事務局までお越し下さい	3 号館 3 階 委員会室

議場と委員会室の受付にある傍聴券に住所、氏名を記入していただくだけで傍聴できます。



平成 23 年第 4 回定例会の傍聴者数

本 会 議 11 月 30 日～12 月 15 日 のべ 12 人
常任委員会 12 月 1 日～12 月 5 日 のべ 8 人

第 1 回定例会の予定

議事の都合により日程や開会時間が変更される場合もありますので、詳しくは市議会事務局へお問合せください。

日 程	会 議	場 所	開会時間
2月20日(月)	議会運営委員会	委員会室	午後 1 時
2月27日(月)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時
2月28日(火)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
2月29日(水)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
3月 1 日(木)	総務安全委員会・協議会	委員会室	午前10時
3月 6 日(火) ～12日(月)	予算審査特別委員会	議 場	午前10時
3月14日(水)	議会運営委員会	委員会室	午後 1 時
3月21日(水)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
3月22日(木)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
3月23日(金)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
3月26日(月)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時